



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／山岸邦太郎
- 副会長／濱 毅・守屋麻里
- 幹事／笠原新太郎
- R 情報(会報)委員長／小口国之

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939

URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp

■ 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2958 回例会 2022 年（令和 4 年）2 月 15 日(火)

点 鐘：山岸邦太郎 司 会：林 裕彦
斉 唱：なし

【ハイブリッド例会】 Zoom によるリモート例会 配信会場：クラブ事務局

会長挨拶

皆さん、こんにちは、本日も前回と同様にハイブリッド例会になります。

メールにて皆さんにも連絡があったと思いますが、6日(日)に高木昭好会員の奥様の葬儀がありました。クラブから香典、生花、弔電の対応をさせていただきましたが、心からご冥福をお祈りします。

このところ、雪降りの日があり、雪かきに疲れている方も多いと思いますが、本日も雪となっています。あまり積もらなければと思います。

さて、現在、北京オリンピックが開催されています、ジャンプノーマルヒルの小林陵侑選手の金メダル獲得に始まり、昨日まで日本人選手が連日活躍しています。フィギアスケート男子の羽生結弦選手がメダルは逃しても4回転半ジャンプに挑戦した姿や競技後のインタビューを聞いて、感動し、凄い人だなと感銘を受けました、オリンピックは20日まで続きますが、まだまだ感動する場面もあると思いますし、日本人選手の活躍に期待したいと思います。

県内のコロナウイルス感染者数ですがここ数日は減少傾向にありますが依然、高止まりになっていますので、もうしばらくこのような状況が続くと思います、本日のようにハイブリッド例会を行って行くことになりますので、引続きご理解とご協力をお願いいたします。

本日も、よろしく願いいたします。

幹事報告

- ・次週2月22日は年間計画による指定休会。
- ・高木昭好会員の奥様のご葬儀について、慶弔規定に従い、クラブより香典、生花、弔電をおくりました。また、高木昭好会員よりクラブに遺志金をいただきました。
- ・2月のRレート 1\$ = 115円です。





新会員卓話「銀行員生活を振り返って」

西澤 賢 新会員

皆さんこんにちは。本日は卓話のお時間をいただき、ありがとうございます。私は 28 年間銀行員をやってきましたが、その銀行員生活を振り返ってという事でお話させていただきます。

まず、私の経歴についてお話いたします。1970 年に岡谷に生まれ、大学卒業後八十二銀行に就職、長野駅前支店を皮切りに県内を転勤、2008 年に 20 年振りに岡谷に戻り、子供も大きくなったため家を建てましたが、建てて半年後の 2012 年に中国の武漢に出向となりました。2 年後に長野に戻り現在に至ります。勤務 28 年、転勤は 12 回になります。

これまでに忘れられない思い出を 3 つ挙げさせていただきます。

私が組合にいた時は、銀行からの提案について様々な支店を回り、2400 人の組合員で手分けをして、色々な意見を吸い上げて、銀行に移行していく活動をしていました。

「3 方よし」をしっかり学び、いい経験ができました。

岡谷支店にいた 4 年間では、法人の営業をさせていただき、私にとって非常に力をつけることができ、勉強になりました。これは次の出向経験にも活かしたいと思います。中でも思い出深いのは、若宮支店の統合時と重なり担当を任された事や、御柱祭に深く関わらせていただいたことが良い思い出となりました。

コロナウイルスで有名になってしまった中国武漢市へ単身で行く事になった時のお話をします。

武漢は広大な中国の真ん中湖北省にあります。世界中の自動車メーカーが進出しており、現地のメーカーと組んで工場を作る動きのある中で、私もその一員として立ち上げに参加いたしました。

私の経歴

1970年8月	岡谷市生まれ
1994年4月	八十二銀行入行（長野駅前支店）
1996年4月	上郷支店
1999年4月	村井支店
2002年4月	人事部付外部出向（長野県市町村課）
2003年4月	中軽井沢支店
2005年8月	営業統括部付（従業員組合）
2008年8月	岡谷支店
2012年4月	市場国際部付（外部企業出向）
2014年4月	坂城支店
2016年6月	小布施支店長
2019年2月	八幡支店長
2021年6月	岡谷支店長（現職）

忘れられない経験と思い出

✓ 組合執行部

人の話を聞き、受け止め、「3方よし」を学んだ。

✓ 岡谷支店

法人営業を学んだ。

✓ お取引先海外現法への出向

遅く生きることを学んだ。

岡谷支店（第一次）

◆ 融資課

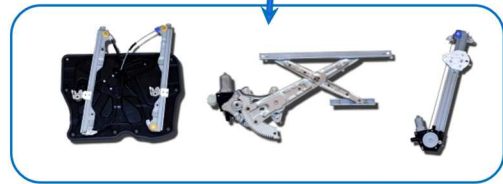
◆ 法人課

✓ 若宮支店の統合と担当エリアの拡大

✓ 御柱祭

■ 武漢市の概要

- **総人口** 1,108万人 (2018年)
- **位置** 北京1,200km、広州1,069km、上海840km、成都1,370km
(九州通衝の地)
- **気温** 8月最高気温39.6℃ (中国三大ボイラー)
- **経済** 華中最大の工商業都市GDP1兆3,410億元 (9位)
- **工業** 鉄鋼業 (武漢鋼鉄) 自動車産業 (東風汽車)
- **商業** 年間商品販売額華中第1位
- **教育** 学生人口約100万人 (中国2位。武漢大学・华中科技大学)
- **有名人** 王昭君 (中国4大美人。菱田春草)
屈原 (春秋戦国時代楚の政治家、詩人。ちまき)
- **三国志と湖北省のゆかり** (襄陽 (古陸中)・赤壁・荊州)



武漢は広大な中国の真ん中湖北省にあります。世界中の自動車メーカーが進出しており、現地のメーカーと組んで工場を作る動きのある中で、私もその一員として立ち上げに参加いたしました。

上海や北京と違い日本人がとても少なく、私がいた8年前は200人程度しかいませんでした。気温はものすごく暑く、吸い込む空気も暑く感じられるほどでした。また、学生が非常に多く10人に1人は大学生という状況でした。

■ 現地法人の立ち上げ業務

□ 人事総務

✓ 採用活動

日系派遣業者、社員紹介、人力市場、HP

- ✓ 労働契約、社員カード整備
- ✓ 就業規則、給与規定、評価昇給制度の制定
- ✓ 日本本社との契約締結 (技術支援、駐在給与)
- ✓ 社会保険加入
- ✓ 備品、車両、保険、ビザ、警備、清掃、福利厚生
- ✓ 労務対応 (日系法律事務所との連携)
- ✓ 董事会の開催

□ 財務

- ✓ 月次四半期決算、月次実績と最新予想本社報告。
①入出庫・在庫②固定資産③不良品廃棄④勘定科目
 - ✓ 規制との格闘 (元転、海外送金、借入、会計ソフト、決算対応) → 初年度黒字へ。
 - ✓ 翌年度事業計画の策定 (10月~12月)
 - 協力関係を構築した機関
 - ✓ 日系会計事務所・銀行・法律事務所
 - ✓ 人材派遣業者・同業者駐在員・JETRO
 - ✓ 政府機関 (税務局、商務庁、労務関連機関)
- ~人に恵まれた幸運。現地スタッフに心から感謝 (謝謝) ~

私が出向した会社は、車のレギュレータを製造していました。この会社の立ち上げ業務で経験したことをお話します。採用活動は、人力市場 (日本でいうハローワーク) や社員の紹介で集めました。労働契約書や社員カード、就業規則、福利厚生、社会保険など、日本と同じように作り、またトラブルも多いので日系法律事務所と連携し労務対応に備えました。董事会という株主総会も年に一度行いました。財務については、日本と違い毎月決算を提出し、更に2か月先の予想まで報告するというかなり重い仕事でした。企画当初は全然うまくいかず、物の出し入れの管理ができておらず在庫も数えてないという事があり、生産管理の人を雇ったり、私も一緒に在庫を数えたりしました。他にも色々苦労はありましたが、初年度なんとか黒字にできました。日本人もいないですし、立ち上げという事で何も分からない中だったのですが、スタッフの方に協力していただき、仲良くしていただいたお陰で何とかやってこれたなと思います。本当に人に恵まれていて、会社のためにと一生懸命やってくれる方たちだったので、今でも感謝しています。

武漢市と工場の写真をご覧ください。



- 海外展開について
- ✓ 目指す利益率・黒字化（配当・日供部品）
- ✓ 回収方法、資金繰り
- ✓ 人材の確保
技術部門の偏り
- ✓ 成功の可能性
市場の大きさと成功
- ✓ 本社サイドの管理体制
駐在員サポート
- ✓ カントリーリスク
反日デモの発生! 撤退する事態の想定。

- これからの経済（キーワード）
- コロナ禍とデジタル化
 - DX→ITの活用を通してビジネスモデルや組織を変革する（暗黙知→形式知・組織知）
 - DX部（2021年6月）デジタル、営業戦略、行員の意識変革。
 - 気候変動問題
 - 2050年カーボンニュートラル
 - 2030年に向けて（ビジネスチャンス）
 - 取引先からの要請（温室効果ガス排出量の可視化）
 - サステナブルファイナンス（SDGs）

海外展開については、様々なことを学びました。私が赴任した時ちょうど尖閣諸島の反日デモにも遭遇しこんなリスクもあるんだと感じました。また、休日は大学生に教わりながら中国語の勉強をして、できるだけ通訳を頼らず中国語で話しかけるように努力いたしました。

海外出向の話を中心に進めてまいりました。最後に、コロナにより色々なことが急激に変化したことにより、デジタル化と気候変動問題は、これからの経済に避けられないと思います。弊行は昨年6月、本店にデジタル化フォーメンション部を立ち上げ、デジタル、営業戦略などに取り組みを始めています。また、菅前首相が2050年カーボンニュートラル宣言をして一気に風向きが変わってきました。2050年はだいぶ先に感じますが、2030年にはある程度置き換えてしまうという話もあります。これからも私共の持っているノウハウをお繋ぎしながら、岡谷市の地域経済を考え取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。本日はご清聴いただきありがとうございますございました。

※ニコニコボックスなし。

出席報告は後日。

2021-2022 年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES